

大分県医労連ニュース

大分県医療労働組合連合会（大分県医労連）

平成 22 年 4 月 23 日発行

〒874-0938 大分県別府市末広町 6-27 シドビル2B

Tel 携帯：0977-23-7762（直通）0977-75-7556 Fax：0977-75-7560

E-mail：irouren3984@bloom.ocn.ne.jp <http://oita-irouren.net/>

がんばって良かったね！！



春闘の取り組みが各単組で行われました。

新職員をお迎えしての歓迎会・交流会・説明会などいろんなスタイルで開催されました。歓迎会では、60名の参加で楽しいゲームが行われ大盛況となりました。県北では、青年部を中心に3単組が集まり、今後の青年部主催のスポーツ大会や交流を深め若者が頑張って組合を盛り上げて行きましょー！と活気ある交流会でした。組合説明会では「また誰も来てくれないかも・・・だって毎年誰も来ないからね・・・」と半分あきらめていたところガラガラとドアが開き「来た」と思っていたら次から次と入って、参加者が31名と驚きでした。とっても分かりやすい説明で『私も入りたい』という気持ちになるくらいのもっとも良い説明会で、加入者もあって大変嬉しい一日となりました。「諦めてはだめ！と改めて感じました」と話していました。組合員が少ないので今までは何もしていませんでしたという単組も「まずは朝ピラから始めます」と週に1回の朝ピラをはじめて、もう3回目となりました。「来週も頑張っね」と声掛けてくれる方もいて勇気づけられます。みなさん忙しいなか頑張っている姿には本当に頭が下がります。この努力はいつかきっと『頑張っって良かったね！』となることと思います。

by RT



労働組合のつどい

今回は「メーデー」です。

初めは1886年5月1日に合衆国カナダ職能労働組合連盟（後のアメリカ労働総同盟、AFL）がシカゴを中心に8時間労働制要求の統一ストライキを行ったのが始まりです。1日12時間、14時間労働が当たり前だった当時、「第1の8時間は仕事のため、第2の8時間は休息のため、そして残りの8時間は自分の好きなことに」を目標に行われました。そして失業防止・最低賃金法の制定です。1890年にヨーロッパ各国やアメリカなどで、第1回国際メーデーが行われました。日本では1905年にメーデーの先駆けとなる平民社の主催で「茶話会」という形で開かれ、その後1920年5月2日日曜日に第1回メーデーが上野公園で行われ、1万人の労働者が「8時間労働制の実施」「失業の防止」「最低賃金法の制定」などを訴えました。翌年から5月1日となりました。労働者が、長い間努力し続けてきたからこそ今日まで引き続いていきます。この努力を無駄にしないよう守って行きましょー！

1/10 労働組合のつどい